

2024年度活動概要

ELF研究会

2024年度も前年度に引き続き、対面とオンラインそれぞれの利点を活かして、国内外の研究者と教育者が参加しやすい運営を心がけました。以下のイベント等を通じて研究会のテーマである「ELF in business and academic settings; ELF and Pedagogy; Identity, culture, language attitude and ELF; ELF and multilingualism/translingualism; ELF and language policy」についての意見交換・理解の深化、及び情報発信に取り組みました。

- 第7回 ELF SIG 国際ワークショップを2025年1月26日に、中央大学にて開催しました。前年度に引き続き、日本アジア英語学会と同一会場で連続する日程で行うことで、両団体のメンバー同士の交流を促しました。ELF SIG 国際ワークショップでは、「ELF in Asia」をテーマにしたSIGメンバーによる研究発表が行われました。加えて、特別講演者を招待し「Trans-speakerism」についてご講演いただきました。また、日本アジア英語学会とELF SIG代表者を交え「ELF and Study Abroad」と題してシンポジウムが執り行われ、留学に関する現状と課題に関して多角から活発な意見交換が繰り広げられました。今後の両団体の相互的な発展にむけての重要な足がかりとなりました。

上記のほか、SIG会員が以下のイベントの運営でそれぞれ活躍しました。

- Ron Darvin氏（ブリティッシュコロンビア大学）講演会
日時・場所：2024年8月2日・早稲田大学及びZoom
タイトル：*Investing in language learning in online and offline spaces*
概要：英語のオンライン・オフライン使用について、イデオロギー、アイデンティティ、資本の関係性の観点から
- Michaela Albl-Mikasa氏（チューリッヒ応用科学大学）講演会
日時・場所：2024年10月24日・早稲田大学及びZoom
タイトル：*A critical appraisal of English as a lingua franca: The interpreting and translation studies (TIS) perspective*
概要：ELF使用について、翻訳と通訳の観点から

それぞれのイベントは盛況で、参加者の評価も高く、今後も続けていきたいと考えています。来年度も継続して研究テーマを追求していきたいと考えています。

さらに、2024年9月11-14日にかけてチェコ共和国プラハで開催されたELF第14回国際大会で複数の会員が研究結果を発表するとともに興味を同じくする世界各国の研究者たちと交流をはかりました。

次年度以降も国内での積極的な活動を続けるとともに国際学会への積極的な参加を促していきたいと考えています。

SIG 活動の詳細 (<https://jacetelf.wordpress.com/>)